

平成30年7月24日

渋川市議会議長
茂木 弘伸 殿

新政クラブ代表・入内島英明
無会派・山崎 正男

会派「新政クラブ」及び無会派議員・行政視察報告の件

日時：平成30年7月17日(火曜日)～19日(木曜日)(2泊3日)

場所：17日・・・島根県隠岐の島町役場往訪 (15:00～16:30)

視察事項・・・隠岐の島町観光振興計画について

19日・・・松江市、市役所往訪 (9:15～11:15)

視察事項・・・松江市景観計画について

視察議員：新政クラブ・山崎雄平、今井五郎、今成信司、入内島英明
無会派・山崎正男

<17日>

隠岐の島町・・・大庭副町長、石田議長より歓迎の挨拶を受け、鳥井観光課長他係員より
隠岐の島町観光振興計画について ①計画策定までの経緯とこれまでの
取り組みについて ②計画の内容及び効果等について ③現状の課題及
び今後の活用等について説明を受ける。詳細については別紙参照。

*隠岐の島町の概要 議員数=16人

島根半島の北東約80kmの海上に位置し、隠岐諸島中最大の島です。島の外周は
151km、面積は242.95平方メートルで面積の80%を森林が占めている。人口
は約15,000人、平成16年10月に島後4町村が合併し現在に至る。平成25年9
月に隠岐ユネスコ世界ジオパークに認定を受け、これを契機に町全体で環境保全、伝統文
化の継承を積極的に行う機運が盛り上がってきている>

<19日>

二村議会事務局次長より歓迎の挨拶を受ける。その後、松江市歴史まちづくり部ま
ちづくり文化財課、飯塚課長、山田景観政策係長より、以下について説明を受ける。

①松江市景観計画の概要について、②松江市景観計画とまちづくり ③松江市屋外広告物条
例の概要について説明を受ける。詳細については別紙参照。

*松江市の概要 議員数：34人

松江市は、古代出雲の中心地として早くから開け、奈良時代には国庁や国分寺が置か
れました。地名の由来は慶長16年堀尾吉晴が亀田山に城を築き、白湯・末次の二郷を
併せて松江と称したことにはじまる。江戸時代には堀尾氏3代、京極氏1代、松平氏10
代の城下町として栄える。そして、この頃、今日に見る都市の基盤が形成された。

昭和26年には松江国際文化観光建設法が制定され、奈良市、京都市と並んで国際文化観
光都市となった。平成23年8月1日に出雲町を合併し人口20万人を超え、平成24年
4月1日には特例市、平成30年4月1日には島根県内初の中核市となり、山陰地方をリ
ードする中核都市として発展してきている。

以上。